

E4 分かち合いを通じた非市場的食料流通のアカウンティング

～八丈島におけるおすそわけネットワークの可視化と環境価値評価～

Accounting Non-market Food Distribution through Social Networks

-Visualization and Environmental Evaluation of Sharing Network in Hachijo Island-

指導教員 町村尚准教授・地球循環共生工学領域

28H15045 館林香菜 (Kana TATEBAYASHI)

Abstract: In rural areas of Japan, agricultural products are produced at home garden frequently and distributed with non-market-based transfer. These activities enrich people's eating habits both quantitatively and qualitatively, however they have not been quantitatively clarified. In addition, in Hachijo Island with abundant natural resources, there are many special food products, which are shared with others on and off the island. Therefore, in this study, by conducting interview and questionnaire surveys to the islander in Hachijo island, I clarified the consumption behavior and substance flow over the dietary habit of Hachijo islander, and examined how the social networks of sharing foods plays the role in the wealth of a community.

Keywords: Social capital, sharing networks, food consumption, local community, Hachijo Island

1. 背景と目的

United Nations University International Human Dimensions Programme on Global Environmental Change と United Nations Environment Programm が発表した包括的な豊かさの指標 (Inclusive Wealth Index, IWI) では、生産資本や人的資本に加え自然資本や社会資本の変化を評価するため、国家を経済・社会的持続可能性を長期的に検討することができ、現在多くの研究がなされている。

特に日本の農村地域では、市場を介さない食料の自家生産やおすそわけが頻繁に行われており、これらの活動は人々の食生活を量的にも質的にも豊かにしている。それらを定量的に評価することで、経済指標だけでは測ることができない包括的な地域の豊かさを測ることが期待できる。

本研究では自然資源が豊富な八丈島を対象にヒアリング調査とアンケート調査を実施することで、食料の自家生産やおすそわけといった社会的ネットワークによる食料の流通量を対象に既存の統計情報と比較可能なアカウンティングを行うことを目的とする。

2. 研究手法

2.1 対象地域

八丈島は東京都から南方 287 [km] に位置する。面積は 69.1 [km²] で、2017 年 1 月現在の人口は 7,706 [人] である。高温多湿の海洋性気候で、年平均気温は 18.1 [°C] である。主な産業は花卉観葉植物栽培を中心とした農業、沿岸漁業、観光関連サービスである。ジャガイモ、サツマイモなどの野菜や、トビウオやムロアジなどの魚介類が金銭的なやり取りを介さずにおすそわけされている。

2.2 ヒアリング調査とアンケート調査の実施

まず、社会資本である食料のおすそわけのネットワークを可視化するために、ヒアリング調査を実施した。15 名の島民を対象に、年間でおすそわけやいただきものとしてやり取りしている食品名、やり取りしている人の関係性、件数を調査した。

次に、八丈島民を対象にアンケート調査を実施し、251 部回収した。同アンケートでは、一世帯あ

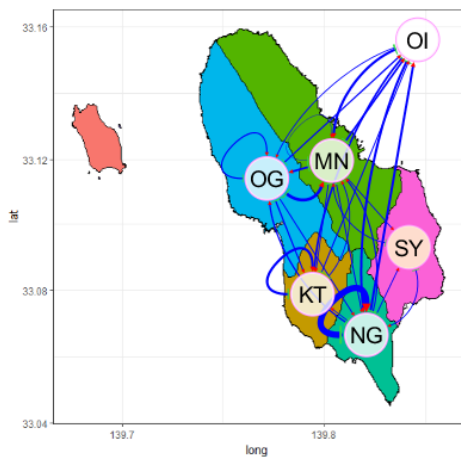


図1 食料のおすそわけのネットワーク図

MN: 三根, OG: 大賀郷, KT: 檜立, NG: 中之郷, SY: 末吉, OI: 島外

たりの食料の年間消費について、①購入している割合、②自家生産している割合、③知人等からおすそわけとして入手する割合を食品群別に調査した。また、それらの割合を国民健康・栄養調査²⁾と消費支出推計データ³⁾に乗じることで、自家生産やおすそわけによって流通している食料をカロリー、金額、栄養別の摂取量として算出した。

3. 結果と考察

図1にヒアリング調査をもとに作成した食料のおすそわけのネットワーク図を示す。矢印の太さはやりとりの件数に比例する。地域に関わらず、食料をあげる・もらうというやりとりが行われていることが視覚的に理解できる。春夏秋冬で頻繁にやりとりされていた食料はそれぞれ、トビウオ、オクラ、サツマイモ、サトイモであった。

図2にアンケート調査の結果に基づいて算出した自家生産・おすそわけによる食料流通量を示す。自家生産とおすそわけによって八丈島民が消費している食料は329 [kcal/人/日]で、八丈島を含む地域のエネルギー摂取量の18%に値する。これは島民がおすそわけとしてもらう米類が大きく影響していると考えられる。一方で、219,543 [円/世帯/年間]が自家生産とおすそわけによって得られており、年間支出金額の21%に値する。これは、各家庭で主にイモ類、野菜、魚介類が自家生産やおすそわけで頻繁に入手することが原因と考えられる。また、栄養素別の自家生産・おすそわけの寄与度はビタミンCが最も多く、一人・一日当たりの摂取量の30%多く摂取しているということがわかった。20代や30代の島民が自家生産をしている割合は他の年代の島民に比べ低いが、おすそわけで入手する割合はほかの年代の島民よりも同程度、もしくはそれ以上の食品群もあるという結果が得られた。このように、自然資本や社会資本を定量的に評価することで、経済指標では評価できない栄養面などの観点も含めた地域の包括的な豊かさを評価することができた。

参考文献

- 1) 国連大学: 国の包括的な豊かさ, < <https://ourworld.unu.edu/jp/the-inclusive-wealth-of-nations> >, [2017.01.18 参照].
- 2) 厚生労働省: 国民健康・栄養調査, < http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html >, [2017.02.02 参照].
- 3) ゼンリン: 消費支出推計データ, < <http://www.zenrin.co.jp/product/gis/marketing/marketing10.html> >, [2017.02.09 参照].

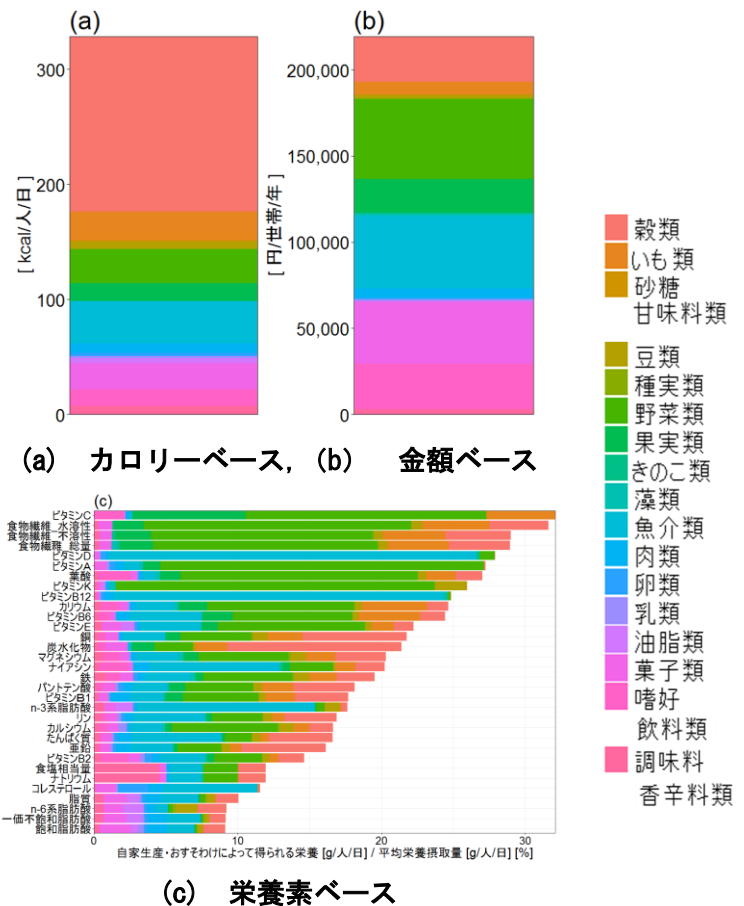


図2 自家生産・おすそわけによる食料流通量